

微量 PCB を含む廃棄物の焼却実証試験結果 環境省



環境省は、平成 22 年 11 月～23 年 1 月に実施した微量 PCB 汚染物の焼却実証試験の結果(下表)を公表しました。

現在、PCB を含有していないと思われていたトランス等の中に、実際には微量の PCB が混入した絶縁油を含むもの(以下、微量 PCB 混入廃電機器等)が大量に存在することが判明しており、これらの処理体制の整備が課題となっています。

そこで、環境省はその整備に向け、現在稼働中の産業廃棄物処理施設等において微量の PCB を含む廃棄物が安全かつ確実に処理できることを確認するため、関連自治体の協力を得て焼却実証試験を実施しています。なお、今後も協力が得られる他の施設において、焼却実証試験を実施していく予定としています。

<平成22年11月～23年1月に実施した実証試験の結果>

施設名	杉田建材株式会社 (千葉県市原市)	神戸環境クリエート株式会社 (兵庫県神戸市)	株式会社クレハ環境 (福島県いわき市)	株式会社富山環境整備 (富山県富山市)
試験期間	平成22年11月30日～12月2日	平成22年12月20日～12月22日	平成23年1月24日～1月26日	平成23年1月26日～1月28日
排ガス濃度 (PCB)				
排ガス濃度 (ダイオキシン類)		1		
敷地境界大気中濃度 (PCB)				
施設周辺大気中 (PCB)				
施設周辺大気中 (ダイオキシン類)				
処理後の残渣物濃度 (PCB)	-			
処理後の残渣物濃度 (ダイオキシン類)	—			

：基準値未満

1: 基準値を上回ったが、通常運転時と本試験を通じて顕著な差はなかった。今年度、同様の条件で再度試験を行う予定。

当社では、絶縁油中の PCB 分析について、今まで多くのお客様からご依頼を頂くと共に、多検体、短納期の体制で行っておりますので、是非お任せ下さい。

資料 2011年5月10日付 環境省報道発表資料

クロマト分析箇所 神村悠介